

令和4年度第2回少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組研究会会議録

開催日時	令和4年11月18日(金) 19:00~20:30
開催会場	ムトスぶらざ3階大会議室
出席者	<p>座長：熊谷邦千加教育長 副座長：後藤正幸</p> <p>研究会委員：湯本正芳、高田浩靖、伊藤拓生、竹内文人、大場孝、安田完爾 宮下博、山浦貞一、後藤正幸、坂野慎二（リモート） 熊谷邦千加、北澤正光</p> <p>(欠席者) 木下潤児、齊藤明宏、熊谷兼富、渡邊義昭、(敬称略)</p> <p>事務局：松下徹教育委員会参与、桑原隆学校教育課長、今井栄浩学校教育専門幹 麦島隆教育支援係長（リモート）、木下耕一教育支援担当専門主査（リモート） 櫻田誠二教育支援担当専門主査（リモート）、桐生尊義教育支援指導主事 櫻井英人課長補佐兼総務係長、上沼昭彦課長補佐兼学務係長、仲田好寿保健 給食係長（リモート）、上柳智広児童クラブ担当専門主幹（リモート）</p>
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 委員・事務局名簿 3 研究会設置要綱 4 報告・説明事項 5 協議事項
記録者	事務局 桐生尊義
<p>1 開会</p> <p>2 座長挨拶</p> <p>皆さん、こんばんは。お仕事でお疲れのところ、今日はまたブラックフライデー、そんな日にお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>飯田市の小学校は今年7校が150周年を迎えておりまして、それぞれの学校で記念式典を開催したり、あるいは逆にコロナで来賓の方はご遠慮くださいというようなパターンもあるのでありますが、そういうところでご挨拶とかあるいは話をしてくれとか、原稿を寄せてくださいと言っていたいて、それぞれの小学校の150年前のことをいろいろ調べてみました。明治5年8月に学制が公布されてその前後に、様々な小学校が小さな寺子屋みたいな学校が集まって、そして最初は特に大きな学校なんかはいくつかの小校という小さな学校、寺子屋のそのあとのものが一緒になってつくっています。当時の歴史を紐解きますと、ほとんどが地元の皆さんがお金を出したり土地を出したり、あるいは寺子屋で先生をやっていた人がそのまま先生になったり、だいたい最初はお寺でスタートする学校も多かったようです。様々な歴史がある中で、やはり地域の皆さんたちが学校をつくってあるという歴史がほとんどであるなあということを改めて認識させていただいたところがあります。やはり学校っていうのはそういう地域にとっての大事な存在であり、多くの方の篤志によって今に至っているんだということを感じるわけであります。</p> <p>飯田市の少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組研究会も、昨年度から今年度それぞれの中学校区、あるいは学校の学校運営協議会で、どのような特色ある学校づくりをしていけばいいのかということをご意見いただいたわけですが、やはりそのヒントは地域にあると改めて感</p>	

じた次第であります。これからの学校づくりがますます地域とのつながりを大事にしながらその特色をいかに学校とともにつくっていくかということが大事なんじゃないかなあと、この150年の歴史を紐解く中でも改めて感じた次第でございます。

本日2回目ということですが、報告事項のほかに後半の協議の中には、今年度の後半の進め方、特に前回もたくさんご意見をいただいたところでございますので、また忌憚のないご意見をいただければと思います。そして来年度の進め方についても、ご意見をいただきながらより良いものにしていけたらというふうに考えております。

今日の会議も夜遅くまで予定してはいますが、お疲れのところではありますが、来年度に向けた未来に向けた大事な会議でございますので、どうぞよろしく願いいたします。

3 研究会会議録の内容確認・公開について

会議録につきましては、この研究会でご確認いただいて公開をしていく、というふうにさせていただいております。皆様には、事前に研究会会議録を送付してご確認をいただいております。ご連絡をいただいた委員さんもおられますので、そのことについては修正をしていくということでございますけれども、なにか修正箇所があればお出しいただき、良いということになれば公開をしていきますのでご承知おきいただきたいと思います。なにか修正箇所ありましたでしょうか？よろしいでしょうか？ はい、ありがとうございます。それでは公開に向けての準備をしておりますのでよろしくお願いいたします。

続いて4番の報告・説明事項でございますけれども、以降の進行は座長ということで熊谷教育長にお預けをいたします。

4 報告・説明事項

座長 最初に報告・説明事項に入ります。事務局、よろしくお願いいたします。

事務局 それでは報告・説明事項ということで5ページをお開きいただきたいと思います。ここでは前回の7月28日に開催いたしました第1回取組研究会で委員の皆様から出されたご意見等につきまして、3つに分けて、1つ目は「教育委員会としての考え方や方向性」、それから次のページになりますが「保護者の意見の反映」「アンケート調査」の3つの項目に分けて、それぞれの主な意見とその下にはそれぞれの意見に対する進め方や方向性、考え方について、簡単ではございますがまとめさせていただきます。

まずは5ページの①学校運営協議会での意見交換や教育委員会事務局内研究チームについての主な意見でございますが、たくさん出されておりますが、一つ目のポツでは「教育環境の充実に向けた基本方針」。教育委員会としての基本的な考え方と取組の進め方をセットにして基本方針としてまとめていただきたい。2つ目ですが、ある程度教育委員会がビジョンを示した方が議論が進むのではないかと。3つ目では、配置枠組みの研究を行い、飯田市としてはこんな方向にいきたいということを提案していただきたい。それから1つとばして一番下ですが、学校の統廃合の問題であると単刀直入に地域に示したほうがよい、というようなご意見をいただいております。

その下に、これらの意見を踏まえた上での進め方、また考え方をまとめております。1つ目、学

校運営協議会での意見交換や保護者アンケート、配置枠組みの研究を基に「これからの学校のあり方について」来年度から基本方針（案）の検討に入っていきたいと整理しております。それから2つめの「これからの学校のあり方について」の基本方針（案）の検討を進めていく中で、学校や地域に新しい学校の考え方や飯田市としての方向性を示していくのがいいのではないかなと思っております。3つ目ですが、意見共有や交換、勉強会等を通じ中学校区としての「これからの学校のあり方について」方向性を打ち出していくのがいいんじゃないかと思っております。続いて基本方針（案）ですが、審議会というものを設置して、そこでお諮りをして調査審議を何回か繰り返しながら最終答申をいただいた上で教育委員会が基本方針（案）として策定し、その案をもとに広く市民の皆さんの意見を聞きながら、協議を重ねた上で基本方針という形にしていくのがいいんじゃないかという考えでございます。

6ページの保護者等の意見の反映について、これもたくさんご意見をいただいております。一つ目のポツでは、学校の現状が保護者にどのくらい理解されているかが課題。保護者にそういった資料を基にして具体的な話し合いをする場面を設けてそれを踏まえた上のアンケートであってほしい、という意見。2つ目ですが、現在学校へ通っている保護者や保育園・幼稚園へ通っている保護者の皆さんの意見を集約することが、方向性を探る上での方法のひとつの方法ではないか、というご意見。それから3つ目では、学校運営協議会で話し合った結果は、保護者や中学生の生徒の皆さんにも伝えて、みんなで今の状況を共有して理解していくということが大事なことはないか。4つ目ではこの課題について議論することが学校や地域にとって本当にプラスになるんじゃないかと考えるというご意見もいただいております。

これらの意見を踏まえた上での進め方、また考え方ですが、本日の会議資料に別添してあります情報誌を発行させていただいて、少子化や施設の老朽化の現状、子ども達への影響、検討の様子等々をまとめて、取組に対する理解を深めて参りたいと考えております。それから保護者アンケートにつきましては、保育園・幼稚園へ通っている保護者の皆さんも情報誌の配布と共にアンケート調査を依頼していくというふうに考えております。

7ページにこれらの進め方を反映させたロードマップを新たに作成して添付させていただきました。一番上の上段が学校や地域の取組として特色ある学校づくり、というふうになっております。一番下の段は教育委員会がやるべき取組として配置枠組みのこと。中段には取組の進め方、方向性を決める研究会、それからその後は基本方針（案）策定に向けた諮問答申機関という位置づけにしたいと思っております「あり方審議会」仮称ではございますが、そういった流れを想定してつくってございます。

その研究会・審議会の中段を見ていただきますと、左から2つ目が第2回研究会ということで本日ということですが、その右側の第3回の取組研究会では、意見交換やアンケート調査の学校区ごとの集約や配置枠組みについてご検討をいただいて、それを基に報告を伺いながら令和5年度の取組についてご意見をいただくというのを第3回で行いたいというような方向を考えています。

令和5年度は、大きな動きとして2重線で囲んであります「あり方審議会」仮称でございますが、その設置を考えているところでございます。基本方針（案）の策定に先立ちまして、教育委員会からの諮問を受けて調査審議を行う諮問答申機関という考えで設置をしていただいて、この審議会でも審議をしてもらって、答申をもって教育委員会が基本方針（案）を策定するという考えでおります。

基本方針（案）の策定後も、広く市民の皆さんのご意見をお伺いしながら基本方針ということで決定していきたいのが一番右側、下の方に書いてある部分の表記でございます。

それから、8ページにはアンケート調査についてもたくさんご意見を頂戴いたしました。ご意見、たくさんありますので説明の方は省略させていただきまして、その下の意見を踏まえた上での進め方、考え方でございます。2つ目のポツですけれども、このアンケート結果から子育て世代の意向がある程度あらわれてくるのではないかと考えまして、飯田市としまして、これからの学校のあり方を考える上での判断材料として捉えていくべき、捉えるべきということで、全学校区対象でアンケートを実施したいというように考えているところでございます。

一番下の○で、「統合」に関するアンケートをしたいと思っておりますけれども、取組研究会でもご意見をいただきましたし、学校運営協議会の中でもご意見をいただいております。学校が子どもたちの学びの環境である一方で、地域にとっては地域のコミュニティーの視点からの議論もごございますが、飯田市全体のこれからの学校づくりを考える上で、子育て世帯のお考え意見をしっかり聞いていくことが必要であると考えておりますし、また学校規模によってはあまり関係ないのではないかとご意見もありましたが、「統合」について学校規模に関わらずどの学校においても保護者の皆さんに考えていただきたい課題、機会という考え方でアンケートの方を作成してございます。保護者アンケートの中身については後ほど協議事項の中で触れさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、前回研究会についての報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

座長 ただ今の報告・説明につきましてご質問、あるいはご意見がございましたらご発言いただきたいと思っております。いかがでしょうか？

委員2 審議会設置。初めて聞くんですけれども、この研究会との位置付けとこれからの進め方を、リンクがもう少し、まあこの研究会がどうなっていくかというようなこともあって、少しそのリンクについてご説明いただければ

座長 協議の最後の方で出てきますが、現時点でお答えできるところで。

事務局 ありがとうございます。後ほど協議事項で審議会については説明させていただきますけれども、7ページのロードマップのように、研究会はこの図でいきますと5年度の第1回くらい開いて研究会は終わって、あり方審議会仮称が設置されていくという流れで、2つが同時に進行していくというようなイメージではないです。ただメンバーとかその位置付けというのはこれからになります。

事務局 只今の説明にもう少し補足しますと、研究会というのは要項4ページについていますけれども、第2章のところには研究会は取り組みの進み方等について協議するというので、どういうプロセスで進めていくのかということを中心にご協議いただきました。本年度中はここでのその議論の方向性を深めながらプロセスを踏んでいくんですけれども、いよいよ来年度からはここ2年間の

学校運営協議会での討議やアンケートの結果やここでいただいたご意見を集約して、そういった材料を持って審議会の方に諮問させていただいて、これからのあり方方針についてご協議させていただいていく、そういうような形で切り変わっていきますので、先ほど課長が申しましたように、研究会が今度審議会組織に変わってその具体の中身についてご議論いただくというステージに入っていくこととなります。

座長 委員2、よろしいでしょうか。(委員2 大丈夫です) そのほかいかがでしょうか？

委員3 このロードマップというのはどこか表に出たんです？(まだです) あ、今後。あのね、ちょっといいのかな、これ。諮問の矢印がそっち向いていて、あり方審議会の答申はどこへ向かっているんです、これ？下に向かうの？ 答申の文字が苦になったの。諮問と答申はセットにして表記した方がいいかな。だから案ができてそれを答申するということかな、とちょっと思ったんだけど。

事務局 ありがとうございます。おっしゃる通り、教育委員会から諮問して教育委員会に答申していただいて基本方針案策定ですので、ちょっと説明とマップが一致していないので直していくようにしたいと思います。

委員4 5ページの事務局内の研究チームでこれからいろいろな情報収集をしていただけると思うんですけども、その中で私一つ、今度飯田市というのはリニア中央新幹線が通って三遠南信自動車道が開通して、そういう立地の中にあるそういう飯田のように思うんですけども、東信地方で佐久平の周辺がいわゆる北陸新幹線が通りあそこに中部縦貫自動車道が今出来つつある状況で、佐久平駅周辺がどういふふうになっているかという、岩村田小学校が千人規模の小学校だったのを500・500で半分に分けまして、7年前に半分に分けた佐久平浅間小が500人でスタートしたのですが、この7年間で300人増えて800という数字になったんですよ。なおかつ、岩村田小学校に行くようになってプラス50ということで、いわゆる増加現象にでる可能性があるというようなことがわかったんです。いま佐久平浅間小は毎年毎年校舎の増築という形でやっているの、立地的にもなんかもすごく似たような感じなので、そういうところも視野に入れて事務局内での研究チームも情報収集の中身をやっていただくと、右肩下がりがばかりではなくて逆の方面もあるんじゃないかなあとということも加えていただくとありがたいかなと思いました。以上です。

事務局 ありがとうございます。佐久平の状況をご紹介いただきました。話では聞いておりましたが、確かにその通りかなあと思いましたので、ぜひ研究と言いますか状況を確認したいなあと思いました。

座長 様々な視点からご意見をいただきましてありがとうございます。さらにはございますか？
ありがとうございます。また協議の中でも戻っていただく、ご発言いただいてもいいかと思っておりますので、報告・説明事項を以上にしたいと思っております。続きまして協議事項の方に入っていきたいと思っております。最初に、令和4年度の後半の進め方について事務局の方でお願いいたします。

5 協議事項

(1) 令和4年度の後半の進め方について

①令和4年度の取り組み

事務局 令和4年度の後半の進め方ということで9ページからになります。9ページの①から10ページの②までは今までの報告といった内容が中心となりますがご説明をさせていただきます。①の令和4年度の取組としまして、あり方検討の目的を改めて今までに配った資料の中から抜粋しながら掲載させていただいております。改めて説明することもないかもしれませんが、間隔が開いておりますので今一度ご確認をお願いできればと思います。あり方の検討の目的でございますが、少子化により児童生徒数が年々減少し、また学校施設の老朽化も進行しているということで、将来にわたって現在の枠組みを維持して学校教育を行っていくことが困難になってしまうかなあと予想といたし不安もあります。その一方で子どもたちが自らの生き方を主体的に切り開いて人となりがあって生きていく力を培うことや、地域の担い手支え手として育ていくことも求められている状況でございます。今後学力だけで言えば都市部の小中学校に通うという選択肢も広がってくるんじゃないかということも予想され不安でございますので、学校と地域が協働していかに特色ある学校づくりを進めていくのかを話し合っていくことは本当にこれまで以上に重要になってくるとそういう考えでございます。

これらの背景や視点に立ちまして、子どもを中心において子どもにとって望ましいこれからの学校のあり方を特色ある学校づくりと学校の配置枠組という両面から検討して方針を導き出しているというのがこの検討の目的でございます。この検討の進め方は中段以降にまとめてありますが、昨年度から重点検討期間として取り組んでおりますけれども、進め方についてはこの取組研究会でご意見ご協議いただき方向づけをいただきながら進めてきているところでございます。

その③プロセスについてですが、令和3年度については各学校の学校運営協議会の皆様からに特色ある学校づくりそれから学校の配置枠組みについて、ご自由に多くのご意見を出し合ってくださいました。令和4年度につきましては特色ある学校づくりということにテーマを絞らせていただいて、学校ごとの客観的データも紹介しながら中長期的な視点から意見をだしていただいております。

保護者アンケートについては後の協議事項にもありますけれども、今学期中の実施に向けて進めておるところでございます。また事務局による配置枠組みの研究についても後ほど取組の経過の中で説明させていただきます。

続きまして10ページからでございます。取組の経過ということで本年度の学校運営協議会の主な意見をまとめたものでございます。本年度開催されました学校運営協議会では特色ある学校づくりということにテーマを絞らせていただいて、委員の皆様にご小グループに分かれていただいて意見を自由に出してもらい意見交換を行っていただきました。様々な意見が出たわけですが、ここでは簡単に主な意見ということで、小中連携・一貫教育、キャリア教育について、それから学校と地域とのかかわり、学力向上について、多様性について、学校規模その他ということでまとめさせていただきますけれども、ほんの意見交換の一部でございますので、第3回の取り組み研究会では更に内容別校区別にまとめたもの等を用意させていただいて報告をさせていただければというふうに考えております。

続きまして12ページ 教育委員会事務局研究チームの取組の経過をまとめてございます。学校の配置や枠組みにつきまして国の審議会答申や研究報告、それから先行事例の調査検討、有識者

からのアドバイス等を基に研究を行って検討材料の一つとして整理をしていきたいということで研究をしてきているところでございます。検討内容につきましては、小中連携・一貫教育における取組の現状と課題の認識でありますとか、先行事例や調査研究を通じ導入した場合のメリット・デメリット、あるいは地域との関係性、これからの学校づくりのための配置・枠組みについての提案を検討しております、これも第3回の取り組み研究会に報告できるように研究を重ねていきたいというように思っております。これまでの研究内容は以下のとおりであります。まずは目的の確認をしまして、検討内容等の確認、新たな学校の制度、メリット・デメリット、県内の新たな学校の様子等々、小中連携・一貫教育の取組を進めた学校づくり等について研究を行ってきております。先ほど佐久平の例をいただいておりますので、そういった視点でもそういった視点を加えて研究をつづけていきたいというふうに思っております。

以上ここまではこれまでの経過ということでご報告というような内容になってしまいましたがご説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。

座長 これも協議事項ではありますが報告的な内容ですが、今事務局の方でご説明させていただいた内容について何かご質問、ご意見がありましたらお願いします。

座長 委員1。前回の内容も含めてですが、本年度このような形で進めてまいりましたし、今後の進め方も載せたものでございますが、何か委員1がご覧になってご質問あるいはご指導いただけるようなことがありますでしょうか？

委員1 まず初めに前回すみません。大学の方で感染対応ということが起きましてそういった関係をやっていて完全にすっ飛ばしてしまいました。申し訳ありませんでした。資料をいただいて中身をざっと見てみましたが、このエリアはこれまでやってきたことですので特に私の方から特にございませぬ。よろしく申し上げます。

座長 ありがとうございます。それではほかよろしいでしょうか。それでは③番の保護者アンケートの実施につきまして事務局の方で説明を申し上げたいと思います。

③保護者向けアンケート調査の実施

事務局 はい。それでは13ページ③です。保護者アンケートの実施についてご協議をお願いできればと思います。保護者向けアンケート調査の概要としまして、アンケートの調査対象は小・中学校に通う児童生徒の保護者に加えまして保育園幼稚園に通う園児の保護者としております。実施期間につきましては、今日ご意見をいただいたのを修正させていただきながら11月末～12月にかけて予定しております。調査方法につきましては、携帯・パソコン・タブレットを使って入力することによって集計できるという仕組みがございますので、QRコードの入った通知を配布いたしましてそのフォームから実施するようなアンケートにしたいと思っております。結果の集計については後程アンケートの方でもご確認いただきたいと思いますが、地区ごと、学校種ごとに集計を行って保護者の意向が分かるものとしたいと思っております。

それから先ほど報告説明事項でもちょっと申し上げましたが、このアンケート調査に合わせまして教育委員会の情報誌の「Hagu」を発行させていただいて、アンケートの中にはこれを読んだ感想も含めていきたいとそうように思っております。以下はアンケート実施に伴う保護者への依頼文です。説明の方は省略させていただきまして、14 ページから 16 ページがアンケートの中身でございます。それぞれご説明は申し上げませんが、第 1 回取り組み研究会で様々なご意見をいただいておりますし、それから実際にお答えいただくであろう P T A 連合会役員の方々にもみていただきながらご意見をいただきまして、前回とはだいぶ違ったアンケートとなっております。このアンケートの内容も含めてご意見をいただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

座長 「Hagu」についても説明をお願いします。

事務局 それでは別紙カラー刷りの「Hagu」、教育委員会の情報誌で年に 2 回くらいは発行しているものですが、今回はこのあり方検討の進め方についてのそのテーマに絞った特集といたらいいでしょうか、そういった形でアンケートと一緒に配布をお願いし、また小中学校の保護者だけではなくて幼稚園保育園の保護者の方にも保育園にご協力いただいております。アンケートに答えていただきたいと思っております。右上には保存版、それから子どもたちを真ん中においたこれからの学校づくりということで趣旨を真ん中に記載し、その下に現実的な課題でございます児童生徒数の減少でありますとか、校舎の老朽化の進行、それから考えられる影響を 1 ページのところ載せてございます。

2 ページ、3 ページではこの研究会でも確認してきていただいた検討する上で大事にしたいことというのを記載させていただいて、事例、今後の検討の進め方、それからアンケートへのご協力をお願いということで、あまり文字を多くすることなく見やすいような色でということで一生懸命考えたつもりではございます。

最後は事例といたしまして、これからの学校というのはこういった事例があるよといったところ、今まで出てきた意見の中で選んだものなのでごく一部ということにもなるかもしれませんが、そういったところも載せて発行していきたいなあと考えているところでございます。

事務局 アンケートの内容について、ちょっと簡単にはなりますが一通りざっと見ていただければと思いますので、ちょっとお時間を頂戴したいと思います。14 ページでございます。地区を 1 番で聞いて 2 番で学年等を確認いたします。地区だけではどこの学校っていうのが分からない可能性がありますので、その次には学校名ということで※で加えさせていただいております。Q3 では学校はどんなところであるべきかと思いませんかということで広く聞きながら最も当てはまる所を 1 つ、それから次のものを 1 つということで 2 つ答えていただくような形を考えております。Q4 では学校の魅力はどのようなことだと思いますかという質問になっております。15 ページに行ってください、こちらは小中学生のみということで今通っている学校の特色は何ですか。6 番では学校規模に満足していますか、7 番では児童生徒数についてどのように思われますか、8 番では 1 学年あたりの学級数はどのくらいがよいと思いませんか、9 番では少子化や施設の老朽化に対して学校の統合は必要だと思いますか、この統合のことについてはさきほどこういった考えでということでここは必要であるし広く聴いていく必要があると判断したところでございます。それから 10 ですがこ

ういった状況の中でより良い環境づくりの検討が進められていることについてどのように思われますか、それからその下 11 番ではより良い教育環境づくりに取り組む上で期待することは何ですかという質問でございます。16 ページにいきまして 12 番ですがこのよりよい環境づくりに取り組む上で教育委員会に望むことは何ですか。それから最後はアンケートや「Hagu」を読んでのご意見ということで自由記載ということになっております。すべての質問には、最後にその他をつけたりわからないという答えも選択できるように困らないような配慮も考えたところでございます。簡単ではございますが概要でございました。

座長 前回ご意見をたくさんいただいたところでございますので、できるだけそれを生かそうとして変えたところが多々ございますし、また研究チーム内でも再度何度か検討してございますが、まだまだ検討する余地があるところがあるかと思えます。今日初めてご覧になっていただいているので、すぐどうってのはなかなか言いづらいと思えますけれども、「Hagu」の方も含めて、細かな点も含めてで結構でございますが、遠慮なくご意見をいただければと思えます。しばらく時間をとった方がよろしいですかね？ じゃあちょっと時間をとりますので目を通していただいてお気づきのことをチェックしていただけたらと思えます。

(約 4 分間 各自でアンケートの内容等に目を通す)

座長 少し時間をとりましたが、まだ目の届かないところがあるかもしれませんが、まず 14 ページから 16 ページのアンケートの方をご覧いただいたところについてご意見をいただければと思っております。いかがでしょうか？

座長 基本的には最初の※印にありますようにお子さんの通学している学校についてお答えください、というスタンスでお願いしているところでございます。ちょっとわかりにくい、こういう方がいいんじゃないかというご提案も含めていかがでしょうか？

委員 5 質問なのですが、「Hagu」の 2 ページ目の飯田型コミュニティスクールの取り組み事例、ここはハイトーンですか？

事務局 まだ作成途中でございまして、ここに取り組み事例が入るように準備をしております。申し訳ございません。

委員 5 今、ここに入っていないということは、これから審議というか行うということですか？ これ 12 月のアンケートですよね。

事務局 飯田市内のいろいろな学校で取り組んでいるコミュニティースクールの様々な取り組み例をここに載せていきたいということで、どんなのを載せようかということで整理をしている最中で、今回ちょっと間に合わなかったという感じです。

委員5 これってあのアンケートもそうですけれども、地域とか実情とはあまり関係なく考えてくれてそういうことですよ。地域とかそういうことはありますけれど、自分たちのとこだけ考えればいいという設定なのか、あるいは飯田市全体を考えるという設定なのかというのがいまいち。僕が主にやっているときには飯田市全体のことを考えたりするじゃないですか。その辺のところはどうなのか。どうなのですかね。

事務局 「Hagu」の方は広く全市に配りたいものですので、どちらかというとな全市的な共通事項みたいなイメージで「Hagu」自体は作っておりますが、学校ごととか地域ごとの状況なんかもわかるようにしたいと思っているので、何かデータを見られるようなご案内をしたいなあと考えております。それからアンケートの方はもうちょっと絞って、その学校に通う子、あるいはこの学校に通うであろうっていうような、もうちょっと地域を限定した純粋な保護者の目線で答えていただいた方が保護者の方もたぶん答えやすいんじゃないかなというような、そういった考えでおります。

座長 委員5、ご意見として何かあれば

委員5 確かに「Hagu」を見ながらアンケートに答えるということになってはいますが、自分たちの地域の課題としてとらえられるかどうかが一番問題だと思うんですよ。それをどういうふうに答えていただくかっていうのは結構難しい内容なんじゃないかなあと思ってはおりますけれども。

事務局 お答えの一部になるんですけども、この「Hagu」に挟み込む資料を現在考えておまして、それは中学校区ごとにそれぞれ刷って、ご自身のお子さんが通っている学校通わせる学校がどういう状況であるかっていうことがわかるようにお知らせをしながら答えていただくというのを考えております。それとコミュニティースクールについては学校運営協議会の仕組みを説明するというよりも、むしろコミュニティースクール、学校運営協議会という仕組みを作りながら、例えばふるさと学習で地域の方が教壇に立たれて先生と一緒に教えることですか、見回りの活動をしていただくとか、学校内の環境整備をしていただくとか、部活のサポートをしていただくとか、そんなような取り組みの実例がわかるような、そんなようなものにしていきたいと考えています。

座長 ありがとうございます。大事なご意見をいただきました。さらにいかがでしょうか。

委員6 内容にかかわってというよりも、まずはアンケートの14ページの質問4の⑤ですが、小中学生どちらも関わっているんで、地域とのかかわりが深く授業や生徒会ってやると中学生対象だけになってしまうので児童会・生徒会というような表記の方が適切ではないかと、本当に校正係のような感じですけど。それから14ページ上のアンケート案の後の※印の文も「ご回答してください」ってなっていますが、こういう言い方もあるのは承知していますが、あんまり一般的に「ご回答してください」って言いますかね。「ご回答ください」ってやるのか、どうしても「ご」を生かしたければ「ご回答ねがいます」とかくらいかなと思います。「ご」をとれば「回答してください」でもいいと思いますけど、ちょっとこだわりの部分で、ネットでみればそういう言い方もありますと書いてあると思うんですけど、あんまり一般的じゃないかなという気がするのと、「Hagu」の方の

2 ページ目の「検討を進めるうえでの大切にしたいこと」の下の2行目ですけれど、「身に着ける」の着けるをあえてこの字をつかっている意図があるのであれば、ネットで調べればこういう使い方もありますと出ていると思いますけど、あんまり一般的でない部分もあるのでむしろひらがなの「つける」にしておく方が無難ではないかな、という思いもちょっとします。変なこだわりで申し訳ないんですけど、すみません。

委員3 表記でいえば私も気になるところがあり、私は信州型コミュニティースクールというのと飯田コミュニティースクールという認識がすごくあったんですけど、正式名は飯田コミュニティースクールですよね。正式名をちゃんと使っていった方がいいと思っています。私の認識とすれば、信州型というのは長野県のやつで飯田型っていうのはなかったなあってちょっと思っているんで。その辺また確認いただいて。他のページにも出ていたところがある。文章の中にね。

座長 ありがとうございます。細かなところも含めて結構でございます。もちろん内容や選択肢の問題等も含めて。

委員7 今ちょうどアンケートを自分でしてみたんですけど、すごく自分の意見がいえるいいアンケートだと感じたんですけど、お子さんの通学予定の学校とかお子さんの通学している学校について回答してくださいということで回答したんですけど、途中「学校はどのようなところであるべきだと思いますか」理想を書いちゃうんじゃないかなと思うんですよね。お子さんの通っている学校はどのようなところであるべきだと思いますか、今通っている学校はどんな魅力かということをお返答する問題ですよね。なので学校の魅力はどのようなことですか、というと自分の理想を答えてしまうので、現状を答える方がいいと思うので、お子さんの通っている学校の魅力はどのようなところですか、っていう質問にした方が、いちいち面倒くさいですけど、答える方としては理想を答えるのではなく現実をこたえるんじゃないかなと思いました。内容はすごくいいと思います。

座長 ありがとうございます。係が喜ぶと思います。委員1からご質問をいただいております。小学校、中学校、どちらに回答を求めるのでしょうか、というご質問です。

委員1 まず案を作っていただいたことに感謝申し上げます。一番最初にもったいないなと思うのは、簡単にいうと保育所と幼稚園の保護者さんにはQ1～4まででQ5から下からは答えないということでしょうか？

座長 5から下は当事者ではないということですよ。

委員1 そうだとすると、保育所あるいは幼稚園の保護者に聞く価値はほとんどないということになります。どういったことかということ、今議論の中で考えなければならないことはわが事として考えていただくということを多分皆さんはおっしゃっていると思います。そのために必要になってくるのは、これから学校に通わせる保護者さんたちが今の小学校なり中学校にもし通うことになったとすれば、どういったところがよくてどういったところを変えていくべきなのかということについ

ての意見を調査する。その際に例えば統廃合等で学校規模が多くなった方がよいのかどうかというのが分かるというのがこのアンケートの趣旨だと思うんです。そうであるとするとならば例えば Q3 とか Q4 のところでこれ何を答えるんですかということになった時に、この回答を分析してこういう学校のあり方にしましょうということの答えが導けるようには私には見えません。もしやるとすれば自分の通う学校あるいはこれから通うかもしれない学校、この小学校ではこうですね、この中学校ではこうですね、という形になるべきですね。

Q5 以下のところでも現状のことを尋ねている部分と今後こうした方がいいと思いますか、ということについての回答をいただくのが筋なのですね。そのことによって現在の学校の在り方について肯定的だったら変更する必要はない、あるいは Q5 でこういったことをしてほしいというのが多ければそれはまさに学校を変えなければいけないですよ、ってことが明らかになってくる。恐らく答えている方が答えようとする場合に Q5, 6, 7, 8 はもし小学校と中学校にいる保護者さんは答えようがない。学校規模に満足していますか、小学校では満足しているかもしれない、中学校では満足していないかもしれない、あるいはその逆かもしれない。Q8 も小学校は1~2 学級でよい、中学校は4 学級以上欲しいですね、といったときにどう答えたらいいのでしょうか。となると、ここで問われている書き方が学校というものがあまり具体化されていない、イメージできていないということになっているかと思います。

時間があまりない中でこれから修正していただくのは大変難しいかもしれませんが、自分の学校をイメージしていただく、小学校なら小学校、中学校なら中学校をそれぞれイメージしていただいて答える、小学生をお持ちの保護者さんだったら中学校は決まっているわけですからそれをイメージして答える、中学校の保護者さんであれば小学校に通っていたわけですからそのときどうだったのかということをお答えください、とやった方が具体的じゃないかなあという気がします。幼稚園や保育園の保護者さんについても、同じように自分の子どもが行く小学校中学校が分かっているわけですからそれについてどう考えているのか、それはまさに将来の需要者とりあえず学校を使う方たちの意見として調するということが一番重要なことなのではないでしょうか。すいません。忙しいことを申し上げました。ありがとうございました。

座長 ありがとうございます。大事な点をご指摘いただきました。

事務局 ただいまご指摘いただいた点、十分変更可能だと思っています。15 ページ上のアスタリスクのところ、これちょっと前のものが残っている。基本的には全ての項を幼稚園、保育園、認定こども園の保護者の方にもお答えいただくと想定しています。すいません。重要ところが違っていました。どういう送付リストを作って送るかによるのですが、小学校と中学校に保護者のいる保護者の方に紐づけをしてワンペーパーで送るというよりも、むしろ作業的には小学校に送り、中学校に在学している保護者の方には中学校でも送りっていうことになるので、小学校と中学校の用紙の右肩あたりに表記をして、小学校用、中学校用ってやっておけば両方のものができますので、保護者の方にはお手数をおかけしますがそれぞれにお答えいただける。共通する項目もありますがお答えいただけるのかなと思います。保育園、幼稚園、認定こども園のお子さんをお持ちの保護者の方には基本は小学校用を利用するようになるのかな。一つの今思いつきのことも含めたお答えですので、このことは先生のご指摘を踏まえて今一度検討していきたいと思っています。

委員5 中学生は中学生でアンケートをとって、幼稚園から小学校と別個にせんと。小学校が一緒になると中学校がいいクラスになるということがあるでしょ。小学校はまるっきり少ないけど2つの学校なりが中学校に行った場合は適正なクラスになるということもあるので、ちょっとめんどくさいけど中学校は別個に考えてもらって、保育園から小学校までと中学校にしてもらった方が答えがはっきり出てくるかな。

座長 ありがとうございます。関わってさらにございますでしょうか？はい、ありがとうございます。それについて修正していきたいと思います。さらに細かい点でもあるいは選択肢の内容についてでも結構ですが、お気づきの点、実際に先ほどご自身で答えていただいたというのも大事なありがたいことではありますが。

委員8 アンケートのQ3ですけど、①の基礎的な学力をつけるところというのがあるのですが、学校というのはそういう基礎的なものなのだなあ、応用力を身につけるとは書いてないので、そういうことなのかなあと感じました。それで9ページですけど、今後のあり方についてリニア時代には学力を重視したりと書いてあるんですけど、で各学校の特色をというやっぱり学力向上のことなのかなって思うのですが、包容力は関係するだろう。ちょっとこれ矛盾しているのかなと思います。

座長 ありがとうございます。そういう点もぜひご指摘いただければと思いますがいかがでしょうか？

委員9 「Hagu」のことでいいですか？ 表のページの子どもたちへの影響のところの下から2つ目のポツ、部活動の選択肢が減少するというので、今部活動移行期でいろんなことが取り巻きで起こっていて、今日もいろいろ話をしたんですけど、例えば拠点校型の部活がこれから入ってくると飯田市の中でも選択肢が広がっていくようなことがあったりして、いままでの合同部活よりも敷居が低くなってきています。だからその辺がちょっと変わっていくかなってことが考えられるかなってことを思いますので、人数が減るということは正直分かるんですけど、中体連自体いろいろなことを子どもたちの選択肢が広がるようなことを考え始めていて、それで地域移行も始まってきますので、いろんなことがちょっと動く時期なので、ちょっと単純にこうはいかないかなってことをちょっと思ったりしています。

座長 ありがとうございます。そこも検討していきたいと思います。「Hagu」の方もご指摘いただければと思いますので。

座長 ここで事務局が先ほどお答えしましたように、自分の学校のデータは見えるようなものを差し込むということでございます。とりあえずよろしいでしょうか？ 重要な点、あるいは大事な点をご指摘いただいてありがとうございました。またもし細かなところでさらにということがありましたら遠慮なくお伝えいただけたらと思います。

座長 それでは続きましてこれも大事な協議いただく内容でございます。先ほど令和5年度の進め方について審議会設置ご意見いただきましたが、このことについてご意見をいただきたいと思いません。その前に事務局の方で説明をお願いします。

(2) 令和5年度の進め方について審議会の設置（素案）

事務局 アンケートについていろいろな指摘をいただきありがとうございました。それではもう一つ審議会の設置についてご協議をお願いしたいと思います。17ページに素案ということでいくつかの項目に絞って現在の研究会と仮称のありかた審議会の関係性といえますか位置づけを整理した表をご用意させていただきました。

審議会の設置につきましては先ほどのロードマップでご説明をした通りで、5年度の設置を予定しているところでございます。真ん中のところの任務でございますけれども、研究会は主にこの取り組みの進め方についてご協議いただき、進んでいく方向を示していただきながら進めてきているところでございます。どうやって進めていいかわからないところでご意見をいただきながらなんとか少しずつかもしれませんけれども進んでいくことで、委員の皆様には本当に感謝しているところでございますが、来年度からはいよいよ方針まず案を取りまとめていきたいということで右側のあり方審議会仮称でございます。

設置方法でございますが審議会でございますので条例設置が必要となりますので方向がこれでいいということであれば設置の方の準備を進めていきたいと考えております。目的のところですがここはこれからの学校のあり方について審議する、まあ実際の表現は変わってくるかもしれませんが内容としましてはもうちょっと具体化した審議ということを使わしていただいております。任務につきましては、これからの学校のあり方に関する事、それから審議会が必要と認める事項に関する事ということ、関することという表現にはしてありますけれども明確にこれからの学校のあり方というような表現を考えていく必要があるのではないかなというように考えていうふうに考えております。

名称も含めまして詰めていく部分は多いかと思いますがこうした考え方の方向性といった新体制にしていくという考え方も含めてご意見をいただければと思います。下の方に組織のことも書いてありまして左側とほぼ変わっていないようなことですが、まあ同じようなメンバーになるのかなあとそういう想定です。ただ今までは1年でしたが時間がかかることが予想されますので任期は2年というようなことを考えているところでございます。まだ素案という段階ですが、ご意見をいただければと思いますのでよろしくをお願いします。

座長 審議会設置について説明を申し上げました。先ほどのロードマップと合わせてでも結構でございますが、意見をいただければと思います。いかがでしょうか？

委員4 先ほど委員2がおっしゃった内容と重複するんですけれども、取組研究会、審議委員会というように移行していくんですけれども、例えば12ページを見ていただいて、事務局内の研究チームが第1回目から第3回目まではおよそ外の情報やデータを収集していろいろ議論していただく。第4回のところでは今度は内のデータ、内の情報、いわゆる学運協で出たことやアンケート結

果やそういった内側の情報を整理しながらやっていきます。で、ある程度事務局の中で基本方針的なものを作り上げていって、それを第3回のところである程度教育委員会のところで見えていただいたものをあり方審議会の方に預けていくような形で動いているのか、それとも先ほど説明があったように進め方だけだよということになればこういう方向だけのことについて取組委員会では協議させていただいて、あと基本方針の中身については事務局で外の情報や内側の情報を全部整理して作ったものをほとんど丸ごとあり方審議会の方へ預けていくというような流れなのか、さっきのこの研究会とあり方審議会のリンクの仕方、そこのところがどうなるのかなあって感じたんですけども。

事務局 私の方でお答えしますが、7ページのところをちょっとご覧いただいて、こここのところの真ん中あたりに特色ある学校づくり一時集約ってありますけれども、正確にはこれまでの検討・研究内容の集約というふうに読み替えていただきたいと思っておりますけれども、それについてはずっと柱として協議・研究してきた特色ある学校づくりについてのこれまでの学校運営協議会等で出た意見を集約していきます。また教育委員会研究チームで研究してきた配置や枠組みについて検討材料の整理をして集約をします。それらを材料として審議会の方に、審議会は1, 2回という想定ではないものですから、基本的には調査及び審議という形をお願いしていきますので、調査のためには今までの特色ある学校づくり、また学校の配置枠組みについての研究の中で出てきたまとめを材料として提供させていただいて、その中でそういった点を考慮・勘案いただいて協議させていただいて、これからの方針についての考えを諮問していただく、というような方向で考えています。ですので研究会である程度まとめた案を作って審議会に諮問するという形ではなく、あくまで研究会ではこれまで出てきた材料を先ほどの2つのテーマの材料を集約していただくというところまでお願いしたいなあと考えております。

座長 委員4、ご意見や質問があれば 委員4 いいです

座長 この点も大事な点だったかと思いますが、さらにいかがでしょうか？ 委員1、この審議会設置についていかがでしょうか？

委員1 これも昨年度の時にも多分お話をさせていただいたと思っておりますけれども、なにを決めるのかということと同時に、そのあとの取り扱いはどういう形になるのかなあということだと思います。で、ここで決めたことにはある意味形になってしまうのか、それともそれを参考にした上で、先ほどのロードマップのことで言えば、決定するかあくまで教育委員会に持ってくる案で変わるかもしれませんねという前提なのかということ、ある程度見通しておいていただいた方がよいのかなあと思います。

つまり7ページのところのロードマップで言いますと、教育委員会の方に戻されたもの下のところで「基本方針(案)策定に伴い広く市民の皆さんの意見を聞き協議」という形になっていくと、これは変更することを前提にしますという書き方ですね。いわゆる国レベルでやっているパブリックコメントのような形で、意見があつてこういうものは確かに誤りだねとかいうようなことを直す修正するというよりも、かなり広い意味で使っていらっしゃるといふふうに考えてよろしいでしょ

うか、ということになるかと思えます。それによってあり方審議会の中でなにをどうしますか、要するにどこまで最後までつめますかっていうこともかなり変わってくるのではないかなあというふうに思います。

座長 ありがとうございます。そこはしっかり見通した上で進めていかないといけないなということ改めて感じました。

委員2 気がついたのですが、ロードマップでは基本方針決定ですけれども、こっちの「Hagu」の方ではまた基本方針策定になっていますが、これどっちなんですか？広く市民の声を聞き協議をしてまた基本方針を策定するのですか？またはロードマップのところでは基本方針決定になってますがその違いはどう何でしょうか？

事務局 すいません。これ検討の中で変更を加えたものが一部直っていなかったんですけども、7ページの基本方針、審議会で答申をいただいたものを考慮させていただいて教育委員会の方で基本方針の案を策定させていただきます。この案を作成したものをもって、さきほど委員1からもどのレベルで意見を求めるのかというところはもう少し検討する必要がありますけれども、その案についてご意見をいただいて、そのいただいたご意見を含めて検討した上で最終的な方針を決定していくというようになります。

委員2 「Hagu」の方の「策定」というのが「決定」ですね。

事務局 そうですね。右上のイラストが描いてあるところの「基本方針策定」というのが「基本方針決定」ということになります。すみません。

座長 基本的には保護者の方の位置になっていますけれども行政の方で決定するという最終的なことになるかと思えます。ありがとうございます。さらにいかがでしょうか？

委員9 あり方審議会の組織のところですけども、ぜひこれからの飯田市の学校のあり方を考えていく会ですので、その他教育委員会が必要と認める者というようにありますので、若い方にここで入っていただけるといいのかなと思えますので、ぜひご検討いただければと思います。

座長 ありがとうございます。ほかいかがでしょうか？

(意見なし)

座長 はい。ありがとうございます。よろしいですかね。貴重なご意見をたくさんいただいてありがとうございました。それでは今いただいたご意見を生かしてまいりたいというふうに思いますので、協議の方を以上で終わりにしたいと思います。それでは進行の方を事務局にお返しします。

事務局 審議会につきましても様々のご意見をいただいてありがとうございました。まだまだ考えなければいけないことがあるなあ改めて感じましたので、また事務局内で検討をして参りたいと

思います。

6 連絡事項

それでは、次第の6番、連絡事項をお願いしたいと思います。第3回取組研究会でございますが、まだ日程は決まっておられませんけれども、来年の2月3月今年度末に予定をしたいと思います。協議内容につきましては令和5年度の取り組みの進め方ということで案件集約、それから方向性等々をお示ししながら進め方ということでご検討いただくというふうに考えております。近くなりましたらまたあらためてご通知いたしますので大変お忙しいところ申し訳ありませんがまたよろしくをお願いしたいと思います。それでは、閉会のご挨拶を副座長お願いいたします。

7 閉会の挨拶 副座長

今日は皆様お疲れさまでした。リモート参加の委員の方もありがとうございました。今年度後半のアンケートの取り組み、また令和5年度審議会の設置と研究の進め方のその具体的なものがいよいよ出てきたなという感じでございます。具体的になればなるほどまたこれから進めていけば進めていただくほど毎回いつも同じようなことを言っているようけど、何のために今これやっているのというところがどうしても具体的になればなるほど見えなくなってしまうことが多々ありますので、この点は大事にしていきたいと思っております。

今後10年を見通して今県内各地で子どもたちのための教育環境整備が進められています。私初任地が大町市でございましたけれども、私の最初にお世話になった学校がこの年度末閉校となります。今現在8学級の中学校ですが、14学級の仁科台中学校という学校と統合して新しい学校が生まれる。今なにか様子を見てみると、当時の子どもたちは還暦を過ぎているものですからいろいろ言ってくれるんですけど、今どういう名前にするかをやっているようでございます。また2校目の茅野市の永明中学校が2校目ですが、子どもたちがちょうどあと2年で還暦を迎えるのですが、その子たちが送ってくれるメールなんかを見ても今永明小学校と永明中学校のその1つの校舎だと言って言えるのです。一体型。その学校がもう建築され始めているという状況のようでございます。いつから審議されてきたのかわかりませんが、県内各地でこのようなことが起きているのだということをつくづく思います。私の当時の子どもたちが今孫のことをいつも頭において意見を言っているのが、非常にああそういうものなんだろうなあということを思いました。そういう意味では今後私たちもそういう面を忘れないようにしなければいけないと思います。

結びになりますけど、全国的なコロナの感染症の第8波が来ていると連日報道されるようになりました。もうコロナ4年目をこれから迎えるということになります。ここはダジャレでございますが、ウイルスだから最近（細菌）のことではないと思います。こんなダジャレを入れさせていただいて、これはオフレコをお願いしたいと思いますけれども、明るい気持ちで基本的な感染防止対策をしながら年末年始を迎えたいなあと思います。今日はお疲れ様でございました。ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。以上で本日の取組研究会は閉会としたいと思います。オンラインの委員さんもお参加いただきましてありがとうございました。（どうもありがとうございました）皆さん次回もよろしくをお願いしたいと思います。本日は大変ありがとうございました。気をつけて

お帰りください。